蕨11

広報WARABI

2022/令和４年

わらび・866

●令和４年11月１日発行／発行所・蕨市役所
●10月１日現在人口：75,324人　前月比　－126人
　世帯数：40,356　　人口密度：14,740人／㎢
●蕨市の面積　5.11㎢

～今月の特集～

●巨匠　智内兄助に迫る……２
●新型コロナワクチン接種情報…５
●わらび市政スポット……６

秋の実りにあふれる笑顔

中央７丁目の農園で、南公民館のちびのびっこクラブの親子がサツマイモを収穫。大きなお芋に笑顔も豊作でした。

洋画家・蕨市文化協会会長

巨匠　智内兄助に迫る

今月３日は文化の日。私たちが暮らす蕨では、市民の皆さんによる芸術・文化活動が活発に行われています。ここでは洋画家として世界的に活躍し、蕨市文化協会会長も務めている智内兄助さんを紹介します。

アクリル絵具と和紙による独自の手法を用い、日本画と洋画の枠を越えた緻密で幻想的な作品で、多くのファンを魅了する智内兄助さん。元プロテニス選手のロジャー・フェデラーや世界有数のコレクター・ロスチャイルド家にその作品を蒐集（しゅうしゅう）されるなど、海外でも高く評価されています。そんな智内さんに作品や蕨での暮らし、文化振興などについて伺いました。

智内（ちない） 兄助（きょうすけ）さん

74歳。北町在住。愛媛県生まれ。東京藝術大学・大学院で油絵を学ぶ。平成４年に毎日新聞の連続小説「藏」の挿絵を担当し、人気を博す。同13年に蕨市けやき文化賞を受賞。同14年からパリで定期的に個展を開くなど活躍の場を海外に広げる。同26年に蕨市文化協会会長に就任。現在に至る。

―智内さん独自の手法について教えてください。

木製のパネルに和紙を貼り、その上からアクリル絵具で下地を塗っていくというものです。和紙を貼ることで絵具の塗膜を強固に支える支持体となる上、和紙の特性により柔らかさやしなやかさを表現できます。きっかけは東京藝術大学（以下藝大）在学時です。油画科にいたものの、湿気の多い日本で油絵は画材として難しいと考え、さまざまな手法を模索していました。そうしたなか、当時普及し始めたアクリル絵具と、日本画古来の素材である和紙を結びつけることを思いつき、新たな表現を追求することにしました。

―絵はいつごろから。

もの心ついた頃から絵を描くことが好きでした。今にして思えば、当時から、「道路の道幅は遠くなるほどに狭く見える」と、子どもながらに感覚として絵に遠近法を取り入れるなど、観察力があったのかもしれませんね。高校生になってからは、人より1枚でも多くデッサンを描こうと早起きを心がけていました。70歳を過ぎた今でも、午前3時に起きて朝の日課を終えたらアトリエに向かっていますよ。

―蕨での生活はいかがですか。

蕨には地方出身者が多く、よそから来た人を受け入れる土壌があると思います。50年以上蕨に住み続けているのも、濃密で温かい人間関係が築けているからです。高校卒業後、藝大へ通学するために中央小学校のそばに下宿。程なく、近くのひかり幼稚舎の皆さんと仲よくなり、お絵かき教室を開くために同園の一室を借りたり、お遊戯会のときには背景の絵を描いてあげたりと交流が生まれました。また、同園の森上温園長先生は当時蕨市文化協会の会長でもあり、いろいろお手伝いをするうちに蕨の文化振興についても関わりを持つようになりました。

―蕨市文化協会の会長になられてからの活動は。

私は蕨市展をもっと開かれたものにして、皆さんに芸術をより身近に感じてもらいたいという思いがありました。そのためにたいせつなのは、権威付けではなく多様性を大事にし、上手な人もそうでない人も同じ壁面に飾ることです。講評は全作品に対して出品者の皆さんの前で行い、授賞式で表彰状を手渡すときには、受賞理由などを述べてコミュニケーションを図るようにしました。各小学校で巨大アート制作（4メートル写真）を企画し、蕨市展に出品することにしたのもその一環です。自分

～智内兄助さんの代表作～

舞待月（180㌢×180㌢　2020年制作）

界結べ（164㌢×127㌢　1987年制作）

たちの作品が飾られれば、みんな見に来ますからね。大人も子どものいきいきした作品を見たら元気がもらえ、会場全体も活性化するはずです。

―蕨の子どもたちにメッセージをお願いします。

まずは絵を描く楽しさを感じてほしいですね。絵も人生も常識にとらわれずに、広い視野で世界を見てみるとおもしろくなります。また、河鍋暁斎記念美術館（12ページ）にはぜひ行ってほしいです。私にとって、暁斎は葛飾北斎と並び立つ存在。特に下絵の自由闊達で力強いデッサンは見もので、そのような肉筆を近くで見られる蕨の子どもたちは実に恵まれていると思いますよ。

平成26年から市内各小学校で作成している巨大アート（写真は平成30年に蕨市美術連盟会長賞を受賞した北小学校の作品）

―今後の目標について。

蕨は、私が生きる手本としていた染織家の故・山辺知行さんをはじめ、多くの芸術家や文化人が集うまちです。蕨市けやき文化賞をいただいた者の使命として、皆さんにもっと芸術に触れられる機会を作るとともに、更なる文化振興に向けて、これからも全力を尽くしていきます。■

芸術の秋。市内では智内さんのお話しに出た蕨市展や河鍋暁斎記念美術館のほか、歴史民俗資料館特別展や蕨市文化祭（お知らせ7ページ）なども開かれています。皆さんも、この機会に新たな芸術・文化に触れてみてはいかがでしょうか。

昭和55年頃自宅にて（写真中央）。写真右は現在蕨市ＰＲ大使で、左手のピアニストとして活躍する長男の智内威雄さん

より開かれた蕨市展にすることで 市民全員に出品してもらえたら―

出品者募集中！　第53回蕨市展（公募美術展覧会）

開催＝17日～20日　午前10時～午後４時（20日は３時まで）　**ところ**＝くるる　**対象**＝16歳以上の市内在住在勤在学者または市内文化団体会員　**応募**＝写真は２点以内、その他は１点（未発表の創作物に限る）　**搬入**＝11日の午後５時～７時または12日の午前９時～正午　※選考後、入選作品を展示します。**搬出**＝20日　午後３時～４時（書道は３時半～４時）　**詳細**＝生涯学習スポーツ課（☎433・7729）

種目	規格制限
第１部 絵画	日本画・油絵・パステル・素描・水彩画・版画。大きさは６号～40号（版画は６号以下も可）。額装。額幅は５㌢以内（水彩画と版画以外はガラス不可）
第２部 彫刻	幅１㍍×奥行１㍍50㌢×高さ２㍍未満のサイズで総重量100㌔未満
第３部 工芸	着物・帯などは必ずどう木を持参
第４部 写真	単写真はＡ４以上全紙までで、マットパネル張り（袋張り不可）。組写真は60～90㌢のパネル張りで、画面サイズは自由。ガラスは不可
第５部 書道	半切以内。軸装。額（ガラス不可）の場合は半切２分の１以内。出品申込書に釈文を添付。半切額は不可

新型コロナワクチン接種情報

オミクロン株対応２価ワクチンの接種

接種対象者＝12歳以上で２回目までの接種を完了し、前回の接種から３か月以上経過した人
接種券＝新たに対象となる人には接種券付き予診票を送付します。すでに市から３回目か４回目の接種券が届いている人はその接種券を使用してください。※オミクロン株対応２価ワクチンの接種はこれまでの接種回数に関わらず、１回です。

▶実施中のオミクロン株対応２価ワクチンの接種

乳幼児の接種

７日以降、乳幼児（生後６か月～４歳）の接種が開始されます。接種場所は下表の「乳幼児」の欄に「○」がある医療機関です。なお、接種回数は３回となりますのでご注意ください。

１・２回目接種は年内に

１・２回目接種で使用するワクチンは、年内で国からの供給が終了予定です。まだお済みでない人は、年内に１・２回目接種を完了することをご検討ください。なお、オミクロン株対応２価ワクチンは２回目までの接種が完了しないと接種できません。

接種場所・予約方法など

個別接種医療機関	予約方法	乳幼児	小児
蕨市立病院（北町２-12-18）	コールセンター・インターネット・LINE	○	○
わらび北町病院（北町１-24-５）	コールセンター・インターネット・LINE・同院へ電話（☎431・6917）		
たかくぼ内科クリニック（北町２-９-７）	コールセンター・インターネット・LINE・同クリニックへ電話（☎432・7555）		
わらびひだまりクリニック（北町３-４-10）	同クリニックホームページ・同クリニックへ電話（☎446・7290）		○
今井病院（塚越７-34-２）	同院へ電話（☎441・0750）		
飯田クリニック（南町２-14-８）	コールセンター・インターネット・LINE		
ワラビーこどもクリニック（中央１-17-35）	コールセンター・インターネット・LINE（11歳以下のみ）	○	○
佐々木耳鼻咽喉科・眼科クリニック（中央３-10-６）	コールセンター・インターネット・LINE		○
みなと医院（中央３-15-22）	同院ホームページ	○	○
斎藤クリニック（中央３-19-14）	同クリニックへ電話（☎445・5311）		
関根内科クリニック（中央３-31-８）	同クリニックへ電話（☎432・9000）		
金子医院（中央４-13-２）	コールセンター・インターネット・LINE・同院へ電話（☎431・2071 電話予約は定期受診者のみ）		
しょう内科クリニック（中央５-12-21）	コールセンター・インターネット・LINE		○
あんずスカイ内科（錦町１-12-１）			
菊地医院（錦町２-20-12）			

※乳幼児は生後６か月～４歳。小児は５～11歳

集団接種会場	日時	予約方法
保健センター（北町２-12-15）	日・木曜日＝午前９時～午後４時15分	コールセンター・インターネット・LINE
市民体育館（北町１-27-15）	月～木曜日＝午前10時～午後５時15分	
日本アンテナ蕨工場（北町４-７-４）	金曜日＝正午～午後７時15分、土曜日＝午前10時～午後３時15分	
東公民館（塚越３-19-13）	土曜日＝午前10時～午後５時15分	

予約方法
コールセンター＝☎050・5577・3712　午前９時～午後５時（土・日・祝日含む）
インターネット予約システム＝右二次元コードから
LINE＝右二次元コードから

接種に関する問い合わせ＝蕨市新型コロナウイルスワクチン接種担当（☎0570・550・443）

ここでは、ワクチン接種について紹介します。最新情報は市ホームページを御覧ください。

特集

わらび市政スポット

まちの情報を発信します

今月の特集・わらび市政スポットでは、今年度に市が進めている取り組みの中から、３つの事業をお伝えします。

1 日本女子プロサッカーを応援 WEリーグ連携事業

女子サッカー漫画『さよなら私のクラマー』の舞台である蕨市と、日本女子プロサッカーリーグ「WE（ウィー）リーグ」の連携事業が進んでいます。

軍手で踊り選手を応援

10月20日、中央小学校児童66人が、WEリーグテーマに乗せた軍手ダンスで、選手にエールを送りました。企画は市と蕨市にぎわいまちづくり連合会。軍手を使うのは手軽に踊れ、競技場でも映えるためで、多くの人に広まるよう、PVも作成・公開しています。

今月16日には、ちふれASエルフェン埼玉の選手が同校を訪問し、子どもたちとダンスを練習予定。更に、同チームの招待により、ホーム試合で児童が踊って観戦するツアーも26日にあり、交流が続いていきます（詳細下囲み）。

夢育むスポーツ都市へ

プロサッカーチームも大きなスタジアムもない蕨市。そんな蕨市でも、地域が一体となった取り組みでプロスポーツに触れる機会を創り、子どもたちが夢を抱くことができます。市は、今後もWEリーグとの連携を進め、スポーツ推進などで、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

期待の声

大塚（おおつか） 千紗（ちさ）さん
中央小学校５年

現地観戦が楽しみ！

ダンスが未経験でもすぐに覚えられました。一番好きな振りは全身を使う「.WEポーズ」。最近テレビでサッカーを見るようになったので、本物の試合も観戦したいです！

初代チェアの講演会

14日（月）　午後１時半　中央公民館　**演題**＝ジェンダー平等の実現に向けて　岡島喜久子さん（WEリーグ初代チェア）　先着30人　サイン会開催　**申し込み**＝10日までに市民活動推進室（☎433・7745）

軍手ダンスPV公開中

中央小児童が踊ったプロモーション動画を市YouTubeで公開中です。女子サッカーへの熱きエールを拡散してください。**詳細**＝生涯学習スポーツ課（☎433・7730）

コラボ事業が続々展開！

▲PVには先生も特別出演！

問い合わせ＝生涯学習スポーツ課（☎433・7730）

2 市民全員に5,000円分の織りなすクーポンを配付

全世帯の家計を応援し、市内の消費拡大を図るため、全市民に一人5,000円分の暮らし応援券「織りなすクーポン」(上写真)を配ります。

対象＝９月１日時点で市に住民登録がある人

配付期間＝今月中

利用期間＝12月１日～来年２月28日

支給額＝5,000円分（共通クーポン500円×６枚、専用クーポン500円×４枚）※いずれもおつりは出ません。

利用可能店舗／共通クーポン＝全対象店舗

専用クーポン＝大型店（店舗面積1,000平方㍍以上）を除く対象店舗

詳細＝商工生活室（☎433・7750）

佐川急便でお届け

クーポンは世帯ごとに佐川急便で順次届きます。届かない場合は商工生活室へ。

3 スマホ決済で20%還元中

地域経済の活性化と消費者応援のため、スマートフォン決済によるPayPay（ペイペイ）ポイント還元キャンペーンを実施中です。

期間＝30日まで

対象＝市内対象店舗でPayPayで支払った人

還元額＝支払い額の最大20%（決済約30日後にPayPayボーナスで付与）※１回の上限付与額は2,000円相当、期間合計の上限付与額は5,000円相当。

詳細＝商工生活室（☎433・7750）

蕨市 × PayPay キャンペーン利用イメージ

PayPayをスマホに導入 ▶ 対象店舗でPayPay決済 ▶ 約30日後にポイント還元

①約１分半、全力でエール　②プロダンサーと事前に踊りを確認　③パタパタ動く振りは大盛り上がり　④WEリーグのテーマが体育館に響いていました

～蕨市がWEリーグとつながるまで～

R3.4 蕨を舞台とした女子サッカー漫画『さよなら私のクラマー』のアニメ放送が開始。市はまちおこしの好機と捉え、グッズ作成、展覧会、スポーツ事業など作品との連携を進めました。

R3.12 まちを挙げて、作品ポスターやキャラクターのぼりの設置、上映会などを実施。総合的活動が評価され、アニメツーリズム協会の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選ばれました。

R4.3 日本女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」の岡島喜久子チェア(当時)がこうした蕨市の取り組みに共感し、市役所を訪問。市は女子サッカー応援を宣言し、今後の連携を約束しました。

「さよクラ」映画上映

さよなら私のクラマー映画版。12月４日(日)午前11時・午後２時　市民会館　500円(高校生以下に無料券配布)　直接会場へ　※グッズも販売。**詳細**＝蕨市にぎわいまちづくり連合会(☎420・2777)

スタジアムで踊り披露

中央小児童が試合会場で軍手ダンスを踊ります。市内企業の大旗も登場。26日(土)　午後２時　熊谷スポーツ文化公園　観戦を希望するかたはWEリーグホームページで。

11月９日～15日
秋の火災予防
運動週間

全国統一防火標語「お出かけは　マスク戸締り　火の用心」

小学生が描いた 防火ポスター展

蕨市消防本部と蕨防火協会が毎年開催している防火ポスター展。今年も市内の全7小学校から538作品が寄せられました。ここでは入賞作品と火災予防に関するお知らせを紹介します。
なお、入賞作品は秋の火災予防運動週間にあわせて、ビバモール蕨錦町店に展示されます。

金賞

高学年の部

石黒（いしぐろ） 和志（かずし） さん
東小学校５年

家を人のように描き、マスクと戸締まりをさせました。また、顔の周りに煙を描いて火災予防を呼びかけることで、今年の標語を表現しています。みんなもお出かけするときは、火の元の確認をしっかりしましょう。

低学年の部

江川（えがわ） 未和（みわ） さん
塚越小学校３年

小さな火でも油断すると大きな火事になると思い、料理やたばこの火を描きました。また、テレビで見たKEEP OUTと書かれた黄色のテープが印象的だったので、場面を分けるために使ってみました。

11月～3月は火災に注意

空気が乾燥する11月から3月までの時期は、火事が起こりやすくなります。「たばこの火をしっかり消す」、「暖房器具付近に燃えやすい物を置かない」など、じゅうぶん注意をしましょう。また、ごみを前日に出さないなど、放火されない環境づくりにも努めましょう。

●**防火ポスター・消防車両展示**／9日(水)　午後4時　ビバモール蕨錦町店　※防火ポスターは15日まで展示します。

問い合わせ＝消防本部予防課（☎441・0174）

情報ダイヤル

掲載は無料。先着順。申し込みは１日午前８時半から秘書広報課（☎433・7703）へ

●**仲間になりませんか**

▼**ねこのみみ**（お話し交流）　月1回　正午　市内　500円／岩本・☎090・3431・4295／

▼**北町囲碁クラブ**　土曜日　午後0時半　北町公民館　無料／小林・☎431・3180／

▼**蕨北町サッカー**　土・日曜日・祝日　北小学校　年中～小学生　月1500～2000円（未就学児は年2000円）／小泉・☎090・4948・5936／

▼**蕨スポーツ吹矢クラブ**　金曜日　午後1時　西公民館　月500円／豊田・☎445・3858／

▼**少林寺拳法スポーツ少年団**　水曜日＝午後7時　土曜日＝午後6時　第二中学校　月2000円／上堀・☎090・9319・6782／

▼**千の会**（日本舞踊）　第2・4金曜日　午前10時　東公民館　見学・体験可／花柳・☎090・9826・3499／

▼**着付結いの会**　月2回　月曜日　午前10時　旭町公民館　初心者歓迎／山崎・☎090・5409・8235／

＼着実に進んでいます！／

学校体育館のエアコン整備

中央小学校の体育の授業（上）　整備したエアコン（下）

市では、教育環境と避難所機能の向上に向けて、昨年度に市内３中学校の体育館にエアコンを設置しました。そして、今年度からは市内小学校の体育館への整備を進めており、中央小学校（上写真）は９月に完了。北小学校では11月に完了予定です。

また、現在は来年度整備予定の２校の設計を行っており、順次、全校への整備を進めていきます。

～ 整備したエアコンの特徴 ～

・エアコンから強く風が吹き出ないため、ほこりが舞い上がりにくい。
・天井や壁などを直接温めたり冷やしたりする輻射熱を利用するため、体育館全体を温度のむらを少なく、適温にすることができる。

使用した児童の 声

石井 涼大郎（いしい りょうたろう）さん
中央小学校 ６年生

暑い日も快適です

夏休み明けに体育館を使ったらエアコンがついていました。以前と比べてとても涼しくなっていて、快適に運動ができるのでうれしいです。

詳細＝教育総務課（☎433・7735）

銀賞

高学年の部
寳（とう） 梓軒（しんけん） さん
塚越小学校６年

低学年の部
髙橋（たかはし） 咲栄（さえ） さん
中央小学校２年

銅賞

高学年の部
渡辺（わたなべ） 玲欧（れお） さん
東小学校４年

低学年の部
前田（まえだ） 颯（いぶき） さん
東小学校３年

入賞

【消防長賞】
・高学年の部　安藤（あんどう） 奏佑（そうすけ） さん（中央小学校４年）
・低学年の部　百瀬（ももせ） 結花（ゆいか） さん（中央東小学校３年）

【防火協会長賞】
・高学年の部　坂井田（さかいだ） 樹生（いつき） さん（塚越小学校６年）
・低学年の部　河辺（かわべ） 玲奈（れな） さん（東小学校３年）

▼**蕨ラグビースクール**　土曜日　午前９時　東小学校　小学３年～６年生　月1500円／小林・✉y.kobarugby@gmail.com／

▼**蕨市バレーボール協会登録チーム募集**　公共施設で活動し市内在住在勤者が６人以上／小原・☎090・2462・6160／

▼**蕨塚越サッカー**　土・日曜日・祝日　東小学校か塚越小学校　年長～小学生　月2500円／赤松・☎090・8773・0735／

▼**南囲碁クラブ**　火曜日　午前９時半　南公民館　無料　有料でプロ指導（不定期）　詳細はホームページ／山本・☎432・4543／

●**参加しませんか**

▼**わらびシニアパソコンクラブ無料体験**　火・土曜日　中央東小学校隣・旧加藤文具２階　ちらし・表・名刺作成　要予約／小林・☎442・2744／

▼**ジュニアテニススクール**　12月11日～３月19日　日曜日等　全10回　午前７時半　富士見テニスコート　小・中学生　先着50人　5000円／蕨市テニス協会・田代・☎070・6460・0193／

▼**松原健康麻雀カレッジ**　水曜日　午後１時半　松原会館　60歳以上　１回1000円／中谷・☎070・6473・5335／

▼**蕨断酒会**（語らいの会）　11日（金）＝南公民館　17日（木）＝旭町公民館　午後７時　相談は随時／大住・☎090・2749・9640／

まちの話題

ここでは9月下旬から10月下旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

矢を射て心と身体を鍛錬

9月から10月にかけて、市民体育館で「初心者弓道教室」が全8回、開催されました。写真は7回目の9月28日に、基本となる弓の持ち方や姿勢などを教わっている様子。見た目以上に難しい競技に苦戦しながらも、参加した10人は一連の動作を通して、心と身体を鍛え、爽やかな汗を流していました。

会場内に響き渡る三重奏

10月15日、歴史民俗資料館でオータムギャラリー2022の開催を記念し、オープニングコンサートが行われました。ブルースハープハーモニカ、アルパ、ギターによるすてきな三重奏の音色で、訪れた60人の耳を楽しませていました。オータムギャラリーは12月25日まで開催中。ぜひご来館ください。

武南高がダンス日本一に

全日本高等学校チームダンス選手権大会で総合優勝した武南（ぶなん）高校ダンス部が、10月18日に市役所を表敬訪問しました。コーチを置かず、140人の部員が振りや衣装を考え、塚越小学校での練習など地域の支えも受けてつかんだ栄冠。次なる全国制覇へ向け、チームは新たなステップを踏み始めています。

「ハローわらび」11月の番組表

CATV 地デジ11ch

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	10/28(金)～11/3(木・祝)	4(金)～10(木)	11(金)～17(木)	18(金)～24(木)	25(金)～12/1(木)
00	タウンタウン 親子で楽しむヨガ教室	タウンタウン ぶぎんノスタルジック わくわくフェス	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウン 蕨市けやき文化賞・自治功労者表彰式	市政ガイド わらび市政ほっとNews
05	交流プラザさくらまつり	武南高校ダンス部が表敬訪問	タウンタウン 塚越小児童が南アフリカの学校と交流	旭町地区生涯学習フェスティバル	タウンタウン 北町地区生涯学習フェスティバル
10	蕨市政なう！ 進む！教育環境の更なる充実	特集・歴史民俗資料館 オータムギャラリー2022 アトリエWarabi Vol.2 ～11組のアーティストたち～	特集・ウィークリープラス 地域で高齢者をサポート「有償ボランティア」	特集・ウィークリープラス 第39回中仙道 武州蕨宿宿場まつり	蕨市政なう！ 着実に推進！未来の蕨を創造するまちづくり
15					
20	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん	特集・ウィークリープラス 中学生の主張 in わらび	美術探訪 河鍋暁斎記念美術館	手話を学んで遊ぼう 第8回 新しい単語＆クリスマスがテーマの会話	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します　無料　詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）

ほっと・エッセイ 152

切れ目のない生活支援・経済対策へ～今月はＰａｙＰａｙキャンペーン第３弾

市長　賴髙英雄

長引くコロナ禍に加え、物価高騰の厳しい状況が続いていますが、帝国データバンクの調査によれば、食品の値上げは、今年に入り約２万品目、特に10月は約６７００品目に上り、まさに「値上げの秋」が市民生活を直撃しています。

蕨市では、７月に新型コロナ・物価高騰緊急対策第７弾を発表し、これまで水道基本料金の無料化や学校給食費負担軽減事業、ひとり親家庭への臨時給付金などの取り組みを進めてきましたが、今月は、地域経済の活性化と消費者応援のため、ＰａｙＰａｙと連携したポイント還元キャンペーン第３弾を実施します。市内の対象店舗においてＰａｙＰａｙで支払うと、最大20％のポイントが戻ってきますので、ぜひ、ご利用ください。

更に、全ての市民の皆さんに１人５千円の暮らし応援券「織りなすクーポン」を支給する事業を来月から実施するため、今月中に各ご家庭にクーポンをお届けしていきます。

切れ目のない生活支援・経済対策を進め、コロナ禍と物価高騰から市民生活と市内事業所の営業を守るため、引き続き全力を挙げてまいります。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第１木曜日。ただし、今月は10日です。12月は１日です。時間は午後１時～５時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

ミジンコ通して命の授業

10月22日、北町公民館でミジンコ教室が開かれました。市内在住のサックス奏者でミジンコの研究家としても知られる坂田明（さかたあきら）さん（写真左）からその特徴や生態について学んだ後は、実際に虫眼鏡や顕微鏡で観察。参加した27人は、全身が透けて見える不思議な生き物に夢中になっていました。

赤（レッド）or 青（ブルー）!? 円盤めぐる攻防

赤と青の表裏異色の円盤を、黄色の目印にいかに近づけるかを競うスポーツが「ディスコン」です。10月７日には、旭町公民館の高齢者学級「ほのぼの学級」で14人が体験。円盤の動きを読んだプレーには歓声が上がり、競技を存分に楽しんでいました。

わが家のアイドル

―607―

晴翔（はると）ちゃん（２歳10か月）

酒井（さかい）　正雄（まさお）さん

文香（あやか）さんの　長男

中央６丁目

「明朗快活で人なつっこい晴翔。乗り物におままごと、虫取りも大好きです。今年の夏には祖父母の家に行き、クワガタを捕まえて大興奮でした。最近では兄としての優しさも出てきて、妹の梨桜菜（りおな）が泣いていると、歌ったり踊ったりしてあやしてくれます。これからも思いやりの心を忘れず、ありがとうやごめんねが言えるすなおな子に育ってほしいです」と母親の文香さん。

広報蕨　八六六号　令和四年十一月一日発行　毎月一回発行　印刷・㈱秀飯舎

輝いてます

ひと

第23回高校生国際美術展　入賞

保坂朱李（ほさかあかり）さん

１枚の絵に思いを込めて

油絵での２作目に取り組む保坂さん

▲受賞作品

豊かな才能の育成と国際交流を深めることなどを目的とする高校生国際美術展。７月８日に審査結果が発表され、応募点数１２８５点の美術の部から、絵の迫力と全体からみなぎるエネルギーの強さが評価され、世界芸術文化振興協会会長賞を受賞したのが、浦和学院高校２年生の保坂朱李さん（17歳・塚越５丁目）です。

デザイナーである母の影響で、幼少期から絵に触れる機会が多かった保坂さん。自分の思いを言葉以上に表現できる絵画の魅力にひかれていきます。そんなとき、テレビでミケランジェロの特集を視聴。多分野で作品を世に残す多才さと芸術性に感動し、創作への意欲が強くなりました。高校はアートコースのある同校へ。授業に美術部の活動と美術漬けの毎日を送っています。

今回の受賞作「生きるモノたちへ」は、保坂さんにとって初めての油絵での作品でした。巨大な海洋生物たちの中心に自分を置き、自身を取り巻く環境や心情をイメージ。始めは上手に描こうと繊細さを意識していましたが、やがて豪快に厚く塗り、生物に命を吹き込もうと方向転換し、内からあふれる創造力で力強く描き切りました。８月３日にはザ・リッツ・カールトン東京で表彰式が行われ、作品は10日から21日まで国立新美術館で展示されました。

現在は気持ち新たに次回作を制作中。学校で知識を学びつつ、持ち味の自由な発想力と独自の表現力で、より良い作品にしたいと意気込みます。「今回の受賞を自信にして、いつかは世の中に残る作品を作っていきたいです」と保坂さん。心のキャンバスに夢への物語も描きながら、これからも挑戦は続いていきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

―No.78―

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁斎筆「猩々の宴」
紙本墨画淡彩　軸装

猩々は中国を発祥とする空想上の霊獣です。日本では能「猩々」に登場する猩々が赤頭で大酒呑みであることから、猩々は赤色、酒豪などを象徴するものとなりました。暁斎は自身が酒好きで能狂言に精通したこともあってか、猩々を描いた作品が多く、「猩々」の画号を用いることもありました。本図の猩々たちは能装束姿で大きな酒壺を囲み、酒宴もたけなわのようです。鶴の背に乗り駆けつけたもの、それを笑顔で迎えるものなど、吉祥に満ちた作品です。

河鍋暁斎記念美術館　開催中

企画展「逢魔が時―暁斎が描いた妖怪変化―」展
同時開催　特別展「『暁斎百鬼画談』の世界」展

開　館＝午前10時～午後４時
休　館＝火・木曜日（祝日除く）、毎月26日～末日、年末年始
ところ＝南町４-36-４
入館料＝一般600円　高校生・大学生500円
小・中学生300円　65歳以上500円
※65歳以上は年齢の分かる物、学生は学生証のご提示を
詳　細＝同館（☎441・9780）

展覧会の詳しい内容は美術館のホームページを御覧ください

Kyosai Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治９年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勧業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。

河鍋暁斎（かわなべきょうさい）
天保２年（1831）～明治22年（1889）

広報紙に載っている写真を希望者に差し上げます（一部を除く）　秘書広報課広報広聴係までご連絡ください